

1 実践事項 ②特色有る取り組み

「学びの質を高める授業づくり」を通した、「確かな学力」

2 実践内容

(1) 「確かな学力」の育成を目指した授業改善について

①校内研修での全体研修会の実施

②1人1回以上の公開授業の実施

- ・公開授業を実施する際には、教務と連携し、職員室の黒板や週報にも掲載し、他の職員への周知を図る。
- ・公開授業を実施する際には「授業プランシート」を作成し、全職員に事前に配布。
- ・授業後は、参観シートに良かった点や改善点等を記入し、授業者に還元する。
- ・他教科の授業もできる限り2回以上は参観する。

③公開授業等を実施した後での教科会における授業リフレクション。

④主事招聘授業（英・国・数・学）による授業後の教科別研修会の実施。

⑤生徒指導の4つのポイントを意識した授業を日常化する。

(2) 家庭学習の習慣化について

①家庭学習の習慣化

- ・教科・内容は生徒自身で決める。
- ・家庭学習の質の向上を目指し、原則生徒各自の学習能力に合わせた内容。
- ・学力向上週間中は、通常とのメリハリをつける。

（週間中は、通常課題＋1ページ）

②家庭学習ノートを学校で準備しておき、取り組みが終わった生徒が1冊終了する度に校長へ提出し、校長の激励の下、新しいノートを配布。

③生徒会学習委員会による取り組み

- ・生徒会学習委員会による家庭学習週間の取り組みを行っている。
- ・定期テスト前に、学習委員会による家庭学習強化週間「スタディーカップ」の実施。
- ・期間中提出率を学級ごとに集計し、意欲を高める。
- ・提出率上位の学級には賞状を生徒会朝会で授与する。
- ・「スタディーカップ」期間中には、給食時間の校内放送で学習委員が提出状況を毎日伝えている。
- ・家庭学習の良い例や家庭学習を行うメリットなどを作成し学年フロアに掲示している。

(3) 読書活動の推進について

①図書館担当や図書館司書と連携し、年間目標読書冊数40冊を設定し取り組んでいる。

②教務と連携し、朝の会や帰りの会を図書館で実施する学級の割り当てを週報に掲載し、生徒が本を借りやすい環境作りに努めている。

③各部活動のキャプテンや図書委員による「おすすめの1冊」のコーナーを設置し、生徒の興味関心や読書意欲を高める。

④季節毎に各行事にちなんだイベントを設定し、生徒が図書館に向かいたくなるような雰囲気作りに努める。

(4) 学習規律の徹底について

①授業開始の徹底

- ・ 2分前入室を行う。チャイムと同時に級長からの号令で授業の開始する。
- ・ 授業中の姿勢についても年度初めに学級担任を中心に「立腰」を呼びかける。

②テスト日課の実施

- ・ 定期テストの際には、休み時間を15分間に設定し、落ち着いて取り組めるように配慮している

3 説明資料

授業の様子（一人一公開授業）、図書館の取り組み、学習委員会取り組み



3年理科



2年国語



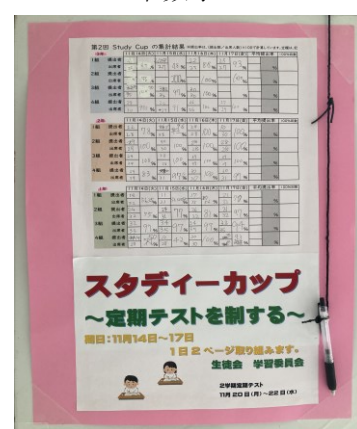
1年数学



図書委員オススメBOOK



特別企画（年末宝くじ）



学習委員会

4 成果

- ①テスト前の家庭学習強化週間（スタディーカップ）では、ほとんどのクラスで提出率が90%を越えている。
- ②公開授業を受けての授業参観シートを活用して、他教師から助言を得たり、各教科で授業リフレクションを行うことで授業力の向上を図ることができた。
- ③公開授業の予定表を職員室に掲示することで授業準備を計画的にすすめることができた。
- ④コロナ禍が過ぎ、ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れる授業が増えた。生徒同士による学び合いや教え合いの場面が増えている。

5 課題

- ①学習規律を意識して行動し2分前入室ができていない生徒とできていない生徒がいる。
- ②テスト前の家庭学習の取り組み「スタディーカップ」等イベントの際の提出率が上がるが、期間以外になると提出率が下がる。
- ③家庭学習の質の向上をはかる。意識の持たせ方や各教科との連携が必要である。